



平成26年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年3月13日

上場会社名 株式会社フルスピード 上場取引所 東
 コード番号 2159 URL http://www.fullspeed.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 伸明
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部副本部長 (氏名) 栗田 洋 TEL 03-5728-4460
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無 無

百万円未満切捨て

1. 平成26年4月期第3四半期の連結業績（平成25年5月1日～平成26年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第3四半期	8,283	4.5	432	18.1	409	17.9	224	—
25年4月期第3四半期	7,929	—	366	—	347	—	△446	—

(注) 包括利益 26年4月期第3四半期 229百万円 (—%) 25年4月期第3四半期 △439百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第3四半期	14.73	14.73
25年4月期第3四半期	△30.24	—

(注) 当社は、平成25年11月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期第3四半期	3,031	613	20.3	40.22
25年4月期	3,147	394	12.5	25.88

(参考) 自己資本 26年4月期第3四半期 613百万円 25年4月期 394百万円

(注) 当社は、平成25年11月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり純資産額は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年4月期	—	0.00	—		
26年4月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想（平成25年5月1日～平成26年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	7.3	600	6.0	568	4.9	468	—	31.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成26年4月期の1株当たり当期純利益につきましては、平成25年11月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

詳細は、次ページ「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年4月期3Q	15,264,000株	25年4月期	15,264,000株
② 期末自己株式数	26年4月期3Q	—株	25年4月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年4月期3Q	15,264,000株	25年4月期3Q	14,780,219株

（注）当社は、平成25年11月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しており、3月10日付の四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料）

速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策や金融緩和に対する期待感から円安・株高が進行し、一部に業績改善の兆しがみられ、今後の景気回復に向けた期待感が高まりつつあります。しかしながら、欧州の政府債務問題や中国経済の鈍化等、依然先行き不透明な状況が続いており、今後の動向が注目されております。

当社グループの主たる事業領域である国内インターネット広告市場におきましては、平成25年には前年比8.1%増の9,381億円（出所：株式会社電通「日本の広告費」）となり拡大を続けております。また、スマートフォンやタブレット端末の普及等によるデバイスの多様化、FacebookやTwitter、LINEに代表されるソーシャルメディアの普及、膨大なインターネットユーザー情報を処理する広告関連技術（アドテクノロジー）を活用したプラットフォームの開発・高度化が加速する等、インターネットビジネス環境の変化は世界規模で進展しており、国内のみならずアジア圏においても更なる市場拡大が期待されております。

このような事業環境の下、当社グループは、“Ad Technology & Marketing Company（アド・テクノロジー & マーケティングカンパニー）”をコーポレートスローガンに掲げ、インターネット広告代理店事業や子会社フォアイトが展開する『アフィリエイトB』等の既存事業の拡販を強化する一方で、前連結会計年度より開発を進めてまいりましたインターネット広告統合管理ツール『AdMatrix DSP』、『AdMatrix 3PAS』のサービス提供を開始するなどアド・テクノロジーカンパニーへの転換を企図した取り組みを進めてまいりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,283,724千円（前年同期比4.5%増）、営業利益432,197千円（前年同期比18.1%増）、経常利益409,313千円（前年同期比17.9%増）となりました。また、過年度決算訂正関連費用94,182千円が発生したものの四半期純利益は224,854千円（前年同期は四半期純損失446,924千円）となりました。

セグメント別の営業概況は次のとおりです。

<インターネット広告代理店事業>

当第3四半期連結累計期間において、リスティング広告*1、SEM広告ソリューション*2、アフィリエイト広告*3などの各種サービスの拡販に引き続き取り組んでまいりましたものの、今後、当社グループにおいて一層の事業拡大を見込むアドネットワーク事業の開発領域にリソースの一部を投下いたしました。また、SEM広告ソリューションにおいても、コンテンツマネジメントに重点を置いたクライアント提案にシフトをいたしております。

以上の結果、当事業の売上高は5,445,048千円（前年同期比9.1%減）となりました。

<アドネットワーク事業>

当第3四半期連結累計期間において、当社が新たに独自開発した新サービス『AdMatrix DSP（*4）』を主とするディスプレイ広告や、クライアントの広告予算配分の最適化を支援する効果測定ツール『AdMatrix 3PAS（*5）』について、一般顧客にサービス提供を開始するとともに、更なる顧客・売上拡大を見据えた体制構築を進めてまいりました。

また、子会社である株式会社フォアイトにおいて、ASP（アフィリエイト・サービス・プロバイダー）*6として当社自社開発したアフィリエイトプログラム『アフィリエイトB』の営業活動に注力した結果、当事業におけるプロモーション数・提携サイト数ともに、引き続き順調に増加いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は3,932,424千円（前年同期比32.8%増）となりました。

<情報メディア事業>

当第3四半期連結累計期間において、情報メディアサイトの運営、ディレクトリ登録サービス等の販売をいたしました。

以上の結果、当事業の売上高は42,679千円（前年同期比20.7%減）となりました。

<クリエイティブ事業>

当第3四半期連結累計期間において、これまでの実績から蓄積されたノウハウを活かし、SEOやユーザビリティを考慮したサイト制作（Webサイト・スマホ最適化サイト・Facebookページ等）やLP制作・バナー制作に取り組んでまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は33,152千円（前年同期比19.5%減）となりました。

- *1 リスティング広告 : 検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果のページに設定された広告枠に表示されるテキスト広告。
- *2 SEM広告ソリューション : 検索エンジンから自社Webサイトへの訪問者を増やしたい顧客に対して、SEO（検索エンジン最適化）をはじめとする各種インターネット広告手法を用いて課題解決するサービス。
- *3 アフィリエイト広告 : Webサイトやブログ等が企業サイトへバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がその広告を経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。
- *4 DSP (Demand Side Platform) : 広告出稿を行う広告主サイドが使用する広告配信プラットフォームのことで、広告主サイドの広告効果の最大化を支援するツール
- *5 3PAS (3rd Party Ad Serving) : 複数のメディアの広告を一括管理して配信・効果測定を行うアドサーバー。第三者配信ともいう。
- *6 ASP (アフィリエイト・サービス・プロバイダー) : 広告主とリンク元となるサイト運営者を仲介する業者。

(当第3四半期連結累計期間における事業区分別販売実績)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成26年1月31日)		
	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
インターネット広告代理店事業	5,445,048	65.7	△9.1
リスティング広告	3,239,504	39.1	△7.8
SEM広告ソリューション	839,272	10.1	△21.1
アフィリエイト広告	1,218,952	14.7	1.9
純広告	76,263	0.9	△46.1
ソーシャル・メディア他	71,055	0.9	△4.8
アドネットワーク事業	3,932,424	47.5	32.8
情報メディア事業	42,679	0.5	△20.7
クリエイティブ事業	33,152	0.4	△19.5
消去	△1,169,581	△14.1	4.9
合計	8,283,724	100.0	4.5

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産)

流動資産は2,623,664千円となり、前連結会計年度末に比べて113,523千円減少しました。これは、主に未収還付法人税等の減少によるものであります。

固定資産は407,451千円となり、前連結会計年度末に比べて2,941千円減少しました。これは、非連結子会社でありました上海富斯市場營銷諮詢有限公司を連結の範囲に含めた結果、関係会社出資金が減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は2,242,818千円となり、前連結会計年度末に比べて492,072千円増加しました。これは、主に短期借入金増加によるものであります。

固定負債は174,395千円となり、前連結会計年度末に比べて827,475千円減少しました。これは、主に長期借入金、債務保証損失引当金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は613,901千円となり、前連結会計年度末に比べて218,937千円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年7月11日に発表しました「平成25年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

また、上記の予想は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度において非連結子会社でありました上海富斯市場營銷諮詢有限公司は、第1四半期連結会計期間より、重要性が増加したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,020,030	1,040,882
受取手形及び売掛金	1,385,029	1,410,568
未収入金	3,544	2,815
前払費用	31,422	28,850
繰延税金資産	154,201	146,225
未収還付法人税等	104,579	—
その他	73,825	4,112
貸倒引当金	△35,444	△9,789
流動資産合計	2,737,187	2,623,664
固定資産		
有形固定資産		
建物	72,374	73,579
減価償却累計額	△10,967	△19,617
建物(純額)	61,407	53,962
工具、器具及び備品	108,610	107,423
減価償却累計額	△73,551	△69,793
工具、器具及び備品(純額)	35,059	37,630
有形固定資産合計	96,466	91,592
無形固定資産		
ソフトウェア	80,062	144,043
その他	58,422	55,040
無形固定資産合計	138,485	199,083
投資その他の資産		
投資有価証券	37,212	33,269
破産更生債権等	311,410	317,358
関係会社出資金	41,973	—
差入保証金	95,234	83,485
その他	20	20
貸倒引当金	△310,410	△317,358
投資その他の資産合計	175,441	116,775
固定資産合計	410,393	407,451
資産合計	3,147,581	3,031,116

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	942,664	1,006,419
短期借入金	100,000	682,000
1年内返済予定の長期借入金	387,200	342,275
未払金	42,190	37,703
未払法人税等	56,911	53,241
未払消費税等	30,840	35,715
賞与引当金	45,000	45,400
その他	145,938	40,064
流動負債合計	1,750,745	2,242,818
固定負債		
長期借入金	419,850	174,375
債務保証損失引当金	582,000	—
繰延税金負債	21	20
固定負債合計	1,001,871	174,395
負債合計	2,752,616	2,417,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	799,070	799,070
資本剰余金	770,070	770,070
利益剰余金	△1,174,213	△963,316
株主資本合計	394,926	605,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	37
為替換算調整勘定	—	8,040
その他の包括利益累計額合計	38	8,078
純資産合計	394,964	613,901
負債純資産合計	3,147,581	3,031,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
売上高	7,929,532	8,283,724
売上原価	6,412,517	6,746,321
売上総利益	1,517,015	1,537,402
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	549,646	544,785
地代家賃	98,683	100,967
減価償却費	46,367	27,406
のれん償却額	1,766	—
貸倒引当金繰入額	19,652	△18,707
賞与引当金繰入額	26,039	41,873
その他	408,793	408,880
販売費及び一般管理費合計	1,150,949	1,105,204
営業利益	366,066	432,197
営業外収益		
受取利息	2,344	128
受取配当金	499	200
債権譲渡益	1,058	—
貸倒引当金戻入額	—	1,000
その他	5,694	516
営業外収益合計	9,596	1,845
営業外費用		
支払利息	15,231	13,855
支払手数料	11,691	7,151
その他	1,494	3,721
営業外費用合計	28,418	24,729
経常利益	347,244	409,313
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
投資有価証券評価損	53	3,942
過年度決算訂正関連費用	—	94,182
本社移転費用	9,173	—
貸倒引当金繰入額	154,827	—
債務保証損失引当金繰入額	580,000	—
その他	1,378	—
特別損失合計	745,431	98,125
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△398,186	311,188
法人税、住民税及び事業税	58,714	78,358
法人税等調整額	△9,610	7,975
法人税等合計	49,104	86,333
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△447,290	224,854
少数株主損失(△)	△366	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△446,924	224,854

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△447,290	224,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,716	△0
為替換算調整勘定	—	4,726
その他の包括利益合計	7,716	4,726
四半期包括利益	△439,573	229,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△439,207	229,580
少数株主に係る四半期包括利益	△366	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (千円)
	インターネット 広告代理店事業 (千円)	アドネットワーク 事業 (千円)	情報メディア 事業 (千円)	クリエイティブ 事業 (千円)	計 (千円)	
売上高						
外部顧客への 売上高	5,987,457	1,848,424	52,469	41,181	7,929,532	7,929,532
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	507	1,113,201	1,368	—	1,115,077	1,115,077
計	5,987,964	2,961,626	53,838	41,181	9,044,610	9,044,610
セグメント利益 又は損失(△)	254,675	366,295	△3,093	16,932	634,809	634,809

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	634,809
セグメント間取引消去	△493
全社費用(注)	268,249
四半期連結損益計算書の営業利益	366,066

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (千円)
	インターネット 広告代理店事業 (千円)	アドネットワーク 事業 (千円)	情報メディア 事業 (千円)	クリエイティブ 事業 (千円)	計 (千円)	
売上高						
外部顧客への 売上高	5,443,633	2,765,304	41,633	33,152	8,283,724	8,283,724
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,415	1,167,119	1,046	—	1,169,581	1,169,581
計	5,445,048	3,932,424	42,679	33,152	9,453,305	9,453,305
セグメント利益 又は損失(△)	241,146	471,032	△11,021	5,916	707,075	707,075

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	707,075
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	274,882
四半期連結損益計算書の営業利益	432,197

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。